

第 7 9 期 学年通信

〒580-0015 松原市新堂 1-552

Tel 072-332-0531

Vision & Work Hard Together

学年直通 Tel 072-332-0711

▶ 学年通信は保護者の方にも見せましょう

◆ 卒業した 77 期生のみなさんから、後輩へのメッセージです ぜひ、読んでください！

① 勉強方法・出願校選び・受験当日でうまくいったことを書いてください。

〈全体的な勉強方法〉

- ・ 集団で学ぶことで周りのこの熱量に刺激をもらい、やる気が出ることももちろん良い効果になりましたが、個別で指導していただくことは、時間のない受験勉強の中で、自分は特に何が足りていないのかを知ることができ、とても助けられました。
- ・ 自転車通学だったので、毎日帰路で自転車をこぎながら、その日に学習した内容を思い出していました。頭の中が整理されるのでおすすめです。
- ・ とにかく使えるものを使うことです。例えば、学校の進路指導室には参考書がたくさんあります。学校には教えてくれる先生がたくさんいます。
- ・ 「完璧主義になりすぎない」ことです。答えを見てもわからない問題をずっと考え続けるのではなく、ほかの問題に移り、3日でも5日でも時間をおいてから解く。その時には見えなかったことが見えることが多いです。
- ・ 早いうちになんでもやっておくことは、大きなアドバンテージになると思いました。ただし、理解しきらずに次々に進むのは二の舞の悪手です。
- ・ 授業で使ったプリント等はファイルにまとめ、自分が忘れていたことや重要なことを自分がわかりやすい方法でノートにまとめる。
- ・ コツコツ勉強して、生野の定期テストで良い点をとれるようにすること。基礎を固めておくこと。
- ・ 1年生の復習は、1年生終わりの春休みに絶対すべき。
- ・ 何時間が勉強したら散歩する。そうすると気分がすっきりして集中力が長続きする。
- ・ 阪神塾に参加したことはとてもよかった。周りの人のレベルが高いからこそ、自分ももっと頑張ろうという気持ちになって、最後まで数学を頑張れた。
- ・ 明日が試験日と言い聞かせてから勉強していた。
- ・ 苦手な範囲が見つかったらその単元の問題のパターンをできるだけ書き出していた。
- ・ 朝早く学校に来て始業まで一時間勉強する習慣をつけたこと。朝型に生活リズムを変えたことで、共テなどの試験の時も、朝イチから頭が回るようになりました。
- ・ 文系は、国数英のどれか一つを、早い段階で極める。
- ・ 講座別授業(後期中間考査後から1月末日までの、午前実施の選択授業)が終わった後も、平日は午前中に今までと同じ時間に朝登校して、学校で勉強していました。わからないところがあればすぐに先生に聞けるし、生活リズムを崩さず、勉強している友達がいたら集中も切れにくかったので良かったです。でも、昼食後は、友達とだらだらしすぎないように気を付けた方がいいです。
- ・ 「質」→「量」→「質」の順番を重視することがベストです。
(まずは教科書レベルをみっちり(質)→大量に演習(量)→さらに重い問題演習(質))
- ・ 模試でしくじったと思ったところを、まとめておくミスノートを作るのは効果的だと思います。

- ・過去問に取り組むとき、実際の解答用紙をコピーして使った。字数制限がない大学の入試で、どのくらいの大きさの文字を書くのか、目安をつかめます。

〈各教科の勉強法〉

- ・夏休みに源氏物語の現代語訳を読んだら、平安時代のイメージがついて、古典が解きやすくなった。
- ・文法の構造とそれぞれの品詞がどんな働きをするのかを日々授業や問題を解くときに意識すると、少しずつですが読めるようにもなりました。
- ・リスニングが最初は苦手だったけど、通学中に二倍速で音声をきいたら、点数が30点伸び、当日の直前にもきいたら、自己最高点をとれた。

〈出願校選び〉

- ・1年の時から、行きたい大学・学部を決めて、2年生からの2年間、そこに向けてやりきれたというのはよかったと思う。
- ・1、2年のうちに、オープンキャンパスに行って、早めに志望校を決められていたのがよかった。
- ・私は将来したいことが決まっていたので、2年の春休み期間にいろんな学校を調べてオープンキャンパスに行きました。大学の雰囲気を感じることができ、モチベーションが上がりました。
- ・志望校を一度も変えずに貫いたことが本当に良かったと思います。まだ結果はわからないけれど、一つも後悔がないので、これは自分でも誇りに思います。
- ・浪人したくないので、公募推薦を受けた。そこで入試本番の雰囲気も分かったので、共通テストやその後の入試も比較的リラックスして受けることができた。
- ・私立は一校しか受けに行きませんでした。国公立志望の人は、共テ利用を大いに使って、国公立大の勉強に専念した方がいいと思います。
- ・行けそうな大学を目指すのをやめて、行きたいところを目指したら、勉強に身が入った。
- ・安易に公立大にしないことをおすすめする。公立大の良さ＝近い、無償化。地方大の良さ＝一人暮らしになって苦労するがよい経験、人脈を広げるチャンス。

〈受験に向けて、受験当日〉

- ・前日、当日に何をするか、最終確認をどの教材でするかを決めておく。やったことの9割は出ないし、直前確認したものが出るとはまれだけど、「決めておいた通り見れたな」と落ち着いて受けられる。
- ・受験当日は、いつも着ている制服を着ていきました。安心感があって落ち着きました。
- ・自分の苦手なところ、間違えたところをまとめたノートは、当日に見るとすごい落ち着きました。
- ・規則正しい生活をしたことで、当日はかぜをひかずに受験できた。

〈共通テスト後、私立・二次試験〉

- ・共通テストで目標点数に届かず、今まで目指してきた大学の前期に出願できなくてとても悔しい思いをしたけれど、そのことによって逆に自分の狭い視野を広げることができ、二次では絶対に共テの悔しさを晴らすという気持ちで挑めたのがよかったと。また、私立を一本にしぼり、対策を徹底できたのがよかった。

② 勉強方法・出願校選び・受験当日で困ったこと、後悔したことがあれば書いてください。

〈勉強方法の後悔〉

- ・もっと、一年の時から苦手な教科から逃げないようにすればよかった。

- ・1・2年の時の勉強量が少ないのに後になってしんどくなりました。定期テスト前の勉強だけでなく、日々の復習が大事ということが身に染みてわかりました。
- ・捨て教科はあまり作るべきではない。
- ・音楽を聴きながら勉強するのは、集中できているように見えて、また解くと理解できていない部分もあったから、はやめに諦めて、集中した方がよかった。
- ・基本、音楽をかけて勉強していたので、音楽を聴けない学校のテストや模試では、集中できなくなっていました。
- ・自分に合う勉強方法を見つけるのが最も大変でした。1年のころから探し始め、3年になってようやく自分の答えにたどり着けたので、3年からでは絶対に間に合わなかったと思います。
- ・少しでもわからないことがあったら絶対に質問しておく。少しのわからないところが積み重なってどんどんつまづいてしまう。

〈勉強計画、時期の後悔〉

- ・秋に共テに必死になっていたが、二次試験の赤本を3年分くらいはやっておけばよかったととても後悔したので、共テ後どうなるかわからないという不安はあると思いますが、そこは「絶対ここを受ける!」という強い気持ちで過去問に取り組むべきだと思います。
- ・自分が受りたい学校の過去問は、夏休みに2, 3年分解いておく方がいいと思います。できなくて当たり前なので、目標把握のためにも解いておくべきです。
- ・部活を引退してからやれば良いと思っていたけど、それで人より2, 3か月遅くなったし、その差は結構ついた。やるべき!
- ・もっといろんな友達や先生と話して、情報を得ればよかった。
- ・国公立大の特別選抜は、特にスケジュール把握が大変だった。
- ・「今日、何の勉強しよう」と決めるのに、無駄に時間を使ってしまった。進学先と今の自分のレベルに合った勉強法が定まったら、やらなければならないことを書き出すといいと思います。
- ・無理すぎる予定を立ててしまっていた。日単位の予定は100%崩れるので、週単位で微調整しつつ、がむしやりにやった方がよい。
- ・共テの時に科目を絞って最後の追い込みをした分、得意科目の点数が下がってしまった。上手にまんべんなく勉強することがとても大切だと思いました。
- ・2年生の終わりごろから、そろそろ本格的に、となんとなく形だけ勉強していたが、気持ちが中途半端なまま進めてしまい、結局成績も思うように伸びなかった。やるなら本気で勉強したらよかった。

〈各教科についての後悔〉

○文系受験者

- ・シス単の小テストの勉強をさぼっていたこと。
- ・英単語や古文単語をもっとはやく、ちゃんとやっておけばよかった。文構造がわかっても単語がわからないと書けないときがある。
- ・二次の小論文対策をもう少し早くから始めておくべきだった。
- ・(私立大を) 社会で受験する人に言いたいのは、私立大は共テレベルの知識では戦えないことです。時事問題が出るころは、ニュースを見ることを薦めます。
- ・2年生から3年生の間の春休みで、二次試験で数学を使うのを諦めてしまったこと。
- ・2年生のときに習う数学が入試で重要になっていた。2年生のときに数学を避けていたので、3年生から取り戻すとなるととても大変で点数がとれない教科になってしまった。
- ・社会や理科基礎は、できるだけ早めに共テの勉強を始めないと、直前に痛い目に遭ったので、定期テストに

向けての勉強もしつつ、理社の復習もしておいた方が直前に暗記に追われず、演習量が増えていいと思います。

- ・社会系の授業をもっと理解しながら受ければよかった。

○理系受験者

- ・古文などの苦手科目に取り組むのが遅くて、試験本番までに間に合わなかった。
- ・シス単と vintage は後回しにするだけ損。(結局することになる)

〈出願校選びの後悔〉

- ・一番良いと思った大学に初めて行ったのが高3の夏だったので、1・2年のオープンキャンパスも、一校だけでなくできるだけ行っておくべきだなと思いました。
- ・もっと一年生の時から、自分の興味のあることを探しているいろいろな大学のオープンキャンパスに行っておけばよかった。
- ・第二志望を決めるのに時間がかかりました。3年生になってからオープンスクールに行くと、「今日勉強できていない」と自己嫌悪に陥ることも多々あったので、はやく決めておくべきだなと思いました。
- ・志望校を適当に決めてしまったため、勉強にやる気が出ず、結局志望校を何個も下げた大学に出願することになってしまった。
- ・もっと早くに進路の相談を、先生とすべきだった。自分で決めるところは自分で決めて、迷ったらすぐ相談した方がよい。
- ・もっと、大学や大学受験を調べることに時間を割くべきだった。(受験方法や、複数日程など)
- ・自分から情報を得ようとしなかったこと。
- ・国公立に集中しすぎて、私立の出願校選びを適当にしてしまった。
- ・同じ私立大学で、違う日程を何個か受けておけばよかった。
- ・私立大を受けすぎて、国公立大への勉強時間があまり確保できなかった。
- ・親と受験のこと(一人暮らしはできるか、浪人はできるか、私立はいけるか)を一度早い段階で話し合うとよい。
- ・私立の出願で、なんとなく出願校を選んだこと。私は全学部個別日程を合計2校4試験、共テ利用を2校受けました。でも、正直その私立に行くことを想像できないまま受けました。そんな中途半端な気持ちで、受験料も高かったのも、そんなに受けなければよかったと後悔しました。
- ・私立に行く気がなかったので、共テ利用だけ出しましたが、それが落ちていて、国公立の前期を受けるまでの不安がとても大きくなった。一校でも受けておけばよかったと後悔しています。
- ・共テリサーチの後、ノリで志望校を下げてしまっ、私立の方がいいかとも思い始めてしまい、直前なのに全然勉強に身が入らなかった。
- ・地方の大学のことを3年生になってから調べたこと。県立大学のことを、共テが終わってから調べざるを得なかったこと。

〈受験まで、受験当日の困ったこと、後悔〉

- ・(今年は国公立大入試直前に最強寒波)入試前日に飛行機で現地入りできたが、飛行機が飛ばない可能性もあった。
- ・設問文を読み間違えたことを後悔している。(2問で50字なのに、1問ずつ50字と勘違いした)
- ・共テの試験会場に行くとき、グーグルマップに頼ってしまい、正門と反対の側についてしまった。事前に調べておくこと、余裕をもって動くことが大事。
- ・受験当日に、早めに行っていて本当に良かったです。ついてから迷い、山の中を走り回りました。

- ・受験票忘れ。国公立前期の受験票しか持っておらず、共テの受験票が必要ということを見落としていた。
- ・受験当日は、たいして見れるわけでもないのに、参考書を入れすぎて移動がしんどかった。最低限にすべき。
- ・面接対策を徹底していなくて、逆質問に困りました。
- ・試験会場の換気が悪く、頭が痛くなったので、休憩中に外に出ればよかった。
- ・受験当日に、解答用紙の大きさを知ったので、いつも通りの字の大きさに書いてしまい書ききれず、書き直しの時間ロスがあった。
- ・昼夜逆転する生活をしていると、受験の当日に寝付けない。

〈共通テスト後、私立・二次試験の後悔〉

- ・共テの結果はやはり大切。私はここで失敗してしまったので、後悔が強く残っている。
- ・私立受験後、国公立が残っているにも関わらず、こみあげてくる燃え尽き感。

③ 後輩たちへのアドバイスをぜひお願いします

〈勉強との向き合い方〉

- ・高3から急に勉強を始めようと思っても、わからないことが多すぎて何から始めたら、どう勉強したらよいかわからなくなるから、1・2年生のときからコツコツする。
- ・1・2年のころから、基礎を着実に固めておくべきです。シス単×古単はおろそかにせず取り組んでおくと、本当に役立つと思います。そして、自分の行きたい学部・大学を早めに決めて目標を持っておくと、勉強が行き詰まった時やモチベーションが落ちているとき、きっと支えになってくれると思います。
- ・勉強面で、1.2年生の時の分の貯金にすごく助けられました。切り替えを大切に、日ごろからがんばってください。
- ・1, 2年生の時から「勉強しておくべきだった」という先輩方の声を集会などで聞いていたはずなのに、結局私も同じ後悔をすることになってしまっているの、反面教師として、私のようになってほしくないなと願っています。ただ、同じ状況に陥ってしまった場合、後悔ばかりしても意味はないので、早く開き直って勉強モードに切り替えられればいいかなと思っています。意外とあつという間なので頑張ってみてください。
- ・赤点をとらないをノーマルにがんばってほしい。部活・行事をめちゃくちゃ楽しむ。
- ・受験勉強は、基礎を貫き通す。むやみにいろんな教材に手を出さない。「周りがこれをやっているから」「この教材の評判がいいから」に流されない。
- ・僕のように独学でがんばる人には、「受験の月」というサイトをおすすめしたい。このサイトには高校数学のいろんな問題解説が載っており、問題の種類がとて多く、解説も詳しくおすすめです。
- ・スマホを封印すれば、びっくりするぐらい集中できます。
- ・(記述のために) 字は綺麗に書けるようにしておいた方がよい。
- ・わからないことがどうかそういうプライドは捨てて、わからないことは仕方ないので、理解するまで質問する。
- ・SNS との付き合い方には十分に気を付けて。2年の春休みのころからスクリーンタイムを減らしていけばよかったと今更後悔しています。
- ・模試をただ自分の実力を測るためではなく、休憩時間の過ごし方とか持っていくものとか、前の教科のことを引きずらないための切り替えとか、いろいろなことの練習だと思って大事にしてほしいです。
- ・できないからといって、勉強する教科を安易に減らさない。減らしてしまうと、大きく選択肢の数が少なくなる。これから伸びるかもしれないし、本番に上振れるかもしれない。私立だけ受けると決めつけない。国公立を受けても私立は受けられるんだから、自分で選択肢を狭めない。

- ・できるだけ学校を休まないこと。授業めっちゃおいていけます。(特に物理、数学) 自分で勉強するよりも授業を受ける方が絶対に理解しやすいです。
- ・学校の授業はサボることなく真面目に聞いていると、必ず良いことがあるので、ぜひ、内職しないようにしてください。また、周りの環境に文句ばかり言っていると、本当に駄目な人間になってしまうので、健全な精神を保つことのできるよう努力してください。
- ・理系の人は、国語を大事にした方がよい。
- ・英単語は多くの人がしっかりやと思いますが、古文単語も同じくらい大事です。試験で古文がある人は、はやくから古文単語を覚えておいたほうがいいです。
- ・シス単を2年のうちに完璧にしていたら、かなり有利です。
- ・受験にフライングなし。ちょっとでも早めにやっておけば、とってもゆとりを持って勉強できます。けれど、これだけは、他の人に絶対に負けないという得意科目を「一つ」作っておきましょう。
- ・英数を1.2年のうちから仕上げていたら、めっちゃ楽になる。
- ・理科できない人は、文系に行った方がいい。3年になってから、しんどい。

〈受験校の決定〉

- ・早いうちから、自分の進路について調べた方がよい。じゃないと必要な科目がわからなくなる。
- ・受験科目だけで大学を決めるのはお勧めしません。
- ・受験校は、本当にしっかり選んだ方がよい。周りの意見を聞くことはあっても、流されないようにし、自分で納得できるところを自分の意志で選んで受験に挑んでほしい。
- ・安全校が、ほんとうに安全かどうかを考える。
- ・自分が大学にこだわるのか、学部にこだわるのかは、早い段階で決めた方がいいと思う。共テがうまくいかなくてどこに行くか悩んだときに長く悩んでいる暇はないので、自分の基準を明確にしておくべきだと思った。
- ・大学のネームバリューだけで突き進んでいる人は、一回、大学の論文や教授のキャリアなどを調べてみよう。大学の雰囲気がわかるはず。
- ・決断を、今の余裕のあるうちに。
当時は、そのときにならないと分らないと思っていたけど、実際判断材料が集まったことには、今度は時間がないとなってしまう。可能性があるものはとことん調べておく。めんどくさいと思うようでは、受験なんてできない。最後、どれでけつめこめるかの時に、考えることを少しでも減らせるように。自分が理由を持って行きたいと思える学校をしっかりと調べて、比較して見つけ、そのあとは、ひたすら自分を信じてがんばってほしい。
- ・共テが終わってから出願校を決めるときには、自分や家族だけであまり決めない方がいいかなと思った。塾や学校の先生に相談するか、事前に私立まできっちり決めておくべき。
- ・共テがたとえ悪かったとして進路変更したとしても、全然恥じることはない！最後に笑えるよう、ラストまでがんばれ！
- ・最初から自分の実力に合わせて選ぶんじゃなくて、絶対に実力より遥か上のところを目指しておいた方がよいです。

〈受験に向けて、受験当日のアドバイス〉

- ・神戸大行く人、ぜひ御影から行ってください。六甲道からはバスが混みすぎて、たぶん乗れないです。

〈モチベーション維持・マインド〉

- ・夢を変えるな、自分を変えろ！

- ・死ぬ気で頑張ったらいいけど、受験がすべてじゃないということを忘れないように。
- ・しっかりと自分のやりたいこと、なりたい像を自分の中に確立させ、そこに向かってとことんやりきることが大切だと思います。苦しい時も多いですが、友人や家族、先生方を頼って、乗り越えてください。
- ・こんなにやったから大丈夫って自信持てるぐらい全力でがんばってください。いろんな人が応援してくれて、毎日勉強だけに集中できる機会なんて、もうきつとないので、楽しんでみてください。
- ・受験勉強をしている中で、いろんな不安に駆られますが、最後に自分の心を落ち着かせてくれるのは、過去の自分の勉強量だと思います。「これだけ勉強してきたから大丈夫、悔いはない」と思えるように、受験日当日の自分のことを思って勉強することをおすすめします。皆さんの幸せを願っています！がんばれ！
- ・受験生になる子も、まだそうではない子も、勉強が大変でしんどくて、投げ出したくなることも多いと思いますが、その努力できる力は、自分だけの宝物です。周りの支えてくれている人達にも感謝を忘れずに、頑張ってください。
- ・1年間勉強だけというのは精神的にしんどいけど、あつという間に終わっていった。「あと何か月ある」とか思って油断しているとやりきれないまま、不安なまま本番になる。この1年の時間が経つはやさは、舐めない方がよい。
- ・自分一人だと不安になったり緊張したりすることが多いので、友達とたくさん話した方がよい。気張りすぎたら一年間もたないので気楽にいくべき。
- ・学校は最後まで行きましょう。
- ・自分は受験生なんだという自覚を早いうちから持ってほしい！ 春や夏はまだ受験も遠くて実感がわかないと思うけど、春休みや夏休みを無駄にしまうと本当に公開します。本当に頑張ってください！ 応援しています！
- ・何か一つにことに打ち込むこと。それが受験勉強であれ部活動であれ何であれ、それが大事なのだと思います。どうせやるなら本気でやってみよう。
- ・受験生としての一年は、今までで一番自分と向き合った一年になりました。自分のやりたいことや将来、自分の長所欠点などを見つめなおして、納得のいく進路実現ができるよう頑張ってください。
- ・共テまでに二次試験の能力は、ある程度身につけておいた方がいいと思います。共テ後、人によりますが、本当に燃え尽きます。
- ・どうせ3年間でなにかしら失敗するのだから、悔やむのではなくこれからどうするかを考え、行動すべき。後悔ばかりするのではなく、次に生かせるようにする方がためになる。
- ・受験生としての自覚を持つと、「あの時にしっかりやっておけばよかった」と思うことが増えると思います。でも、当日の自分には勉強以外のことにしっかり努力をしてここまでやってきたのだと思っていいと思います。過去の自分をけなすのではなく、「よくやった！」と褒めて、勉学に励んでほしいです。
- ・試験をするときも、普段生活をするときも、時間に余裕をもって行動、勉強すること。

◆ 春休みを大切に！ 2年次に向けて、飛躍のための土台作りにしよう！

後期期末考査終了(2/27)から本日(3/5)までの1週間をどのように過ごしましたか？

前号の『学年通信』でも述べたとおり、**春休みを大切に過ごしてください。**第1クールの前半終了です。ここまですでに冷静に振り返って、自身の成長につなげてください。

第1クール： 考査終了(2/27)から教科書購入(3/11)までの13日間

第2クール： 公立高入試(3/12)から終業式(3/24)までの13日間

第3クール： 3/25 から始業式前日(4/7)までの14日間